



TOWN OF WOOD

木のまち よしの

YOSHINO WOOD FEST.

10月21日 4年ぶりに開催 木のイベント

吉野貯木エリアを会場に(一社)吉野と暮らす会の主催で、4年ぶりとなる「よしのウッドフェス2023」が開催されました。吉野と暮らす会は、林業、製材所、集成材工場、木工所などの後継者有志で2012年に結成され、吉野の木にまつわるコトやモノを発信し、木のある暮らしを伝えていく活動を行うグループです。「木は大事」「森は大事」という認識はあっても、それを「実感」として持っている人はまだまだ少ない中、イベントを通じて木に触れ、森に触れ、もっと身近に木や森を感じてもらおうという思いからこの企画を実施。



貯木エリアの製材所で説明を受ける、まち歩きの参加者

当日は、マルシェや木工体験などが行われ、多くの人に参加しました。また事前申し込み制の、森林と人との共生を考えるジビエセミナーや山林の現場で作業を見られるツアー、吉野の木と歴史を学べるまち歩きなども好評を博しました。YouTubeでの動画配信や、CVY11チャンネルでのスポット番組の放送、各種メディアへの掲載など、事前広報にも注力したほか、今回はインターネット上で協力金を募るクラウドファンディングも実施し、目標金額を越える寄附が集まり、イベント運営に活用されました。



for Yoshino's future

吉野の未来のために

奈良県防災総合訓練

10月22日 吉野運動公園で実施



◀被災現場を想定した訓練(グラウンド)



屋外展示ブースの様子(体育館前ロータリー)▶



◀津風呂湖での孤立地域救出訓練(車椅子対応が可能なボートでの救出)



体育館で行われた避難所訓練▶

奈良県、吉野町、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村の主催により実施されたこの訓練は、地域住民、消防、警察、自衛隊、防災関係機関等約80機関の協力により行われました。当日は、訓練参加者や来賓、一般来場者を合わせて約1,100人が集まりました。今回は、関係機関の連携や地域防災力の向上などを目的に行われ、大型台風による風水害を想定して実施。被災地と避難所の訓練やヘリ等の訓練が行われ、ドローンによる被災状況の確認やライフラインの応急復旧訓練なども行われました。



for Yoshino's future

吉野の未来のために

小学生の目線で「まちづくり」

11月1日「吉野町子ども議会」を実施



次世代を担う子どもたちが、吉野町の課題や将来について調べ、考え、意見を提案・発表する機会として、町内の小学6年生を対象に吉野町子ども議会を実施しました。この試みは、子どもたちがふるさと吉野に誇りを感じ、愛することを学ぶ「ふるさと教育」の一環として行われたもので、地域社会の一員としてまちづくりに参画する意識を醸成する目的で行われました。当日は23名の児童が出席し、新たな特産物の開発や小学校跡地の活用に関する提案などが発表されました。

議会だより

令和5年第3回臨時会 10月25日

全議案を承認・可決

② 令和5年度一般会計補正予算(第10号) 【可決】

- ・補正規模 720万円
- ・予算総額 63億4,012万7千円
- ・債務負担行為 追加「新庁舎整備検討審議会運営支援業務」182万円
- ・地方債 限度額の変更「避難路整備」720万円増額し1,630万円に変更
- ・歳入 ▶緊急防災・減災事業債(720万円)
- ・歳出 ▶公有財産購入費(67万7千円)、▶建物等滅失に伴う補償費(652万3千円)

(1) 予算 《2件》

① 令和5年度一般会計補正予算(第9号)の専決処分

【承認】

- ・補正規模 1,150万円
- ・予算総額 63億3,292万7千円
- ・歳入 ▶財政調整基金繰入金(1,150万円)
- ・歳出 ▶法人町民税法人税割の還付金(1,150万円)

一目でわかる審議結果

【○=賛成 ●=反対 一=欠席 △=棄権】 ※議長は裁決に加わりません

種別	議案名又は内容	議決結果	議員名							
			藤本昌義	辻内正誠	下中一平	山本義史	上滝義平	中西利彦	西澤巧平	野木康司
(1) 予算	① 令和5年度一般会計補正予算(第9号)の専決処分	承認	○	○	○	一	○	○	○	※
	② 令和5年度一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	一	○	○	○	